

人口と開発に関する国会議員会議報告書

ICPD PoA の公約達成に向けた連携強化



2024年1月29-30日

南スーダン・ジュバ



目次

目次.....	i
略語リスト.....	ii
1. はじめに.....	1
2. 背景.....	1
3. 目的.....	2
4. 活動内容.....	2
5. 準備会合.....	3
6. 人口と開発に関する国会議員会議.....	3
7. 視察.....	15
7.1 SSNP&D 事務局.....	15
7.2 国会議長表敬訪問.....	15
7.3 John Garang De Mabior 霊廟訪問.....	17
7.4 南スーダン女性議員連盟訪問:.....	17
8. まとめ.....	19
9. 提言.....	19

略語リスト

APFPD/FPA	アフリカ人口・開発議員フォーラム
APDA	アジア人口・開発協会
FGM	女性器切除
GBV	ジェンダーに基づく暴力
ICPD	国際人口開発会議
MDGs	ミレニアム開発目標
MPs	国会議員
NPC	国民評議会
SDGs	持続可能な開発目標
SRHR	セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス／ライツ
SSNP&D	南スーダン人口開発議員連盟
UNFPA	国連人口基金
UPFFSP&D	人口と開発に関するウガンダ国会議員フォーラム

1. はじめに

本書は、2024年1月29日-30日に南スーダン・ジュバで開催された人口と開発に関する国会議員会議の報告書である。この会議は、南スーダン人口開発議員連盟（SSNP&D）並びにアジア人口・開発協会（APDA）共催、国連人口基金（UNFPA）の支援により開催された。

1日目は会議、2日目は視察が行われた。会議の進行は、Parmena Awerial Aluong 暫定国民立法議会副議長が務めた。会議は、南スーダンの国会議員50名を対象とし、さらに Abdul Rashid Hassan Pelpuo 議員（ガーナ）が議長を務める人口と開発に関するアフリカ議員フォーラム（FPA）からも代表団が参加した。

2. 背景

世界で資源が限られている中、増加する人口に経済は対応できていない。2022年11月27日、世界人口は80億人に到達し、この日を境に、各国は人口に対する適切な対応を図るための課題について考えるようになった。各国は、食料問題や社会サービスの提供といった課題に取り組む必要がある。

多くの国々が、自国の経済によって国民のニーズを満たせるように、様々な国際文書（コミュニケ、条約、公約）に署名してきた。その中でも国際人口開発会議（ICPD）は、様々な議会活動の方向性を導いてきた。FPAは、ICPDアジェンダの実施を促進するため、国会議員が交流し、その活動や計画を調整するためのプラットフォームとして設立された。さらに、ICPD、FP2030、SDGsの公約に向けた進捗を加速させるため、国家方針や計画、戦略的文書の更新と調整における国会議員の役割をフォローし、それを強調する重要な役割を担ってきた。

APDAやUNFPAをはじめとする様々なパートナーの支援を受け、FPAは、メンバー国の能力構築だけでなく、ICPDアジェンダがアフリカの様々な国で確実に実施されるよう、一連の活動に積極的に関与してきた。またメンバー国の学びの機会として、経験や成功事例を共有するための明確なネットワークを構築した。

人口と開発に関するアフリカ国会議員フォーラム（FPA）

FPAは、ICPD行動計画の実施のためのアフリカ国会議員の能力を強化し、SDGsとアフリカ連合アジェンダ2063の公約の達成を支援するために、2012年に地域議員フォーラムとして設立された。

南スーダン人口開発議員ネットワーク（SSNP&D）

SSNP&Dは、南スーダンの人々に影響を与えている人口と開発の問題を提唱することを目的として、2018年に結成された超党派のネットワークである。SSNP&DはUNFPAと緊密に協力して、活動を行っている。APDAとFPAは、人口問題への取り組みの優良事例を他の国々から学ぶ機会として、南スーダンの国会議員のための会議を開催することを提案した。

国会議員会議の意義

FPA は、国内及び地域レベルで人口と開発に関するアジェンダを推進するための地域組織である。FPA のメンバー国や戦略的パートナーは、FPA と協力し、2030 年アジェンダにおける SDGs や ICPD 行動計画の基盤を構築することに取り組んでいる。

南スーダン政府もまた、人間中心の開発は、個人の尊厳と人権に着目する必要性を認識している。従って、ICPD25 公約を実施する立法者・政策立案者として、SSNP&D は強い政治的意志、国のオーナーシップや支援を活用し、これまでの成果を強固なものにするための連携・構築を目指している。本会議は、国会議員がそれぞれの代表地域で人口に関する様々な活動やプログラム実施に関する意見交換や活動連携の場として、重要な課題について検討し、各国の知識と経験を共有し、今後向かうべき方向を模索するために開催された。2022 年 6 月にアディスアババで開催された FPA 総会において、南スーダンは早急に人口問題への政策介入のための技術支援を必要とする国の 1 つとされた。南スーダンは 2011 年 6 月 9 日に独立した新しい国であり、様々な体制を整える必要があった。内線から落ち着きを取り戻しつつある時期でもあり、本会議は時宜を得たものであった。

3. 目的

1. ICPD 行動計画の実施に向けた議員活動を再活性化する。
2. アフリカ各国の人口問題への政策介入に関する経験を共有する場を提供する。
3. SSNP&D の活動をレビューし、FPA の今後の方向性を策定する。

4. 活動内容

APDA、FPA、SSNP&D は、UNFPA と連携して以下の 2 日間の活動を実施した。



FPA 役員及び SSNP&D メンバー議員

- ジュバでハイレベル国会議員会議を開催。FPA 役員及び南スーダン暫定国会議員約 60 名、政府関係者 10 名が出席した。ICPD の進捗に関して、ケニア、ウガンダ、ガーナなどの事例に関するプレゼンテーションが行われた。
- SSNP&D の事務所を表敬訪問、活動について説明を受けた。
- 暫定国民立法議会議長を表敬訪問。
- John Garang De Mabior 霊廟を訪問。
- 南スーダン女性議員連盟（Women Parliamentary Caucus）との交流。

5. 準備会合

SSNP&D 議長の Majur Babur Ajar 議員、FPA 議長の Abdul Rashid Hassan Pelpou 議員（ガーナ）、SSNP&D コーディネーターの Simon Philip Lumori 氏、Komol Miidi 議員（ウガンダ）、FPA コーディネーターの Wamala Musa Buyungo 氏（ウガンダ）が出席。



Majur Babur Ajar 議員・SSNP&D 議長：SSNP&D を代表して、南スーダンへの訪問に感謝の意を表したい。Wamala Musa 氏がジュバで国会議員オリエンテーションと戦略計画策定のために UNFPA の支援を受けた際、SSNP&D のために多大な働きをしてくれたことにも感謝を述べたい。また、FPA との関係強化を全面的に支援することを約束する。

Abdul Rashid Hassan Pelpou 議員・FPA 議長：温かい歓迎を受けたことに感銘の意を表す。空港からジュバ市内までのインフラ整備の問題に関して、担当大臣と協力して取り組むよう要請したい。

Komol Joseph Miidi 議員：ウガンダと南スーダンの人々が良好な関係を築いていることを強調したい。私は南スーダンと国境を接する選挙区の代表であり、言語などいくつかの文化的価値を共有しているため、南スーダンは非常に居心地が良い。国会議員に対し、国民の生活を向上させるために何が最善かを追求するよう呼びかけ、国民の生活向上のために最善の策を講じることを求めたい。

6. 人口と開発に関する国会議員会議

開会式

開会式では、Simon Lumori Philip 氏が司会進行を務め、最初に Parmena Awaria Aluong 副議長、Abdul Rashid 議員（ガーナ）・FPA 議長、Fredric Outa 議員（ケニア）・FPA 副議長、Elvis Donkoh 議員（ガーナ）、Komol Joseph 議員（ウガンダ）、Wamala Musa Buyungo FPA コーディネーターの紹介を行った。

歓迎挨拶：Majur Babur Ajal 議員・SSNP&D 議長

会議主賓に感謝し、人口と開発の分野における全てのパートナー及び組織の多大な働きに対して感謝の意を表したい。また APDA、UNFPA、南スーダンのリプロダクティブ・ヘルス・エージェンシー（Reproductive Health Agency）の貢献についても触れたい。

南スーダンは平和になり、訪れる人々は安心して過ごすことができる。現在直面している課題は、プログラム策定の際に優先されるべき、アクセスが困難な地域が数多くあることである。SSNP&D は ICDP アジェンダを推進するために 2018 年に発足した。SSNP&D は、人口と開発に関する問題について効果的に審議するため、メンバーの招集において主導的役割を果たしてきた。Abdul Rashid Pelpuo FPA 議長の下で発揮されている FPA のリーダーシップに感謝の意を表したい。また自身を役員に選出してくれたことに感謝の意を表し、引き続き精力的に務めることを約束する。

FPA が ICPD 行動計画の進捗状況を確認するための国会議員会議の開催地として、南スーダンが選ばれたことは光栄である。議会議長・副議長の参加を得られたのはそのためである。会議テーマは「**ICPD PoA の公約達成に向けた連携強化**」であり、この目的は経験と成功事例を共有し、互いに学び合うことである。また参加者に、鍵となるデータを慎重に把握するよう促したい。

最後に、FPA 事務局コーディネーターの Wamala Musa 氏と、APDA の支援に感謝の意を表したい。また南スーダンの実態は、報道で伝えられているような恐怖を与えるようなものでは決してないことを参加者に認識してほしい。

挨拶：Wamala Musa Buyungo FPA 地域コーディネーター



副議長、FPA 議長、アフリカ各国の国会議員、そして会議開催を快く迎え入れてくれたジュバの人々に対し感謝を表したい。前回は国会議員向けの人口問題に関するオリエンテーションや、ネットワーク構築のための戦略計画の策定を支援するコンサルタントとして南スーダンを訪れ、その活動は大成功を収めた。国会議員に対し、会議からの提言を受け止め、それを自身の国民に伝達するよう求める。また、南スーダンの国会議員に対し、国民のより良い生活を確保するために、あらゆる政策を実施するよう促したい。そして、計画を実施しながら、誰一人取り残さないために UNFPA の活動に携わるよう要請したい。

挨拶：Abdul Rahid Hassan Pelpuo 議員（ガーナ）・FPA 議長

Parmena Awaria Aluong 副議長、閣僚、アフリカ各国の国会議員、Majur Babur Ajal SSNP&D 議長、南スーダン国会議員、リプロダクティブ・ヘルス・エージェンシー長官の出席を歓迎する。人口と開発の問題に取り組むことを目的とした本会議に参加でき嬉しく思う。温かい歓迎に感謝し、今回の会議において各国が実施可能な取り組みを学び、実践するための良い機会となることを期待する。



この会議への参加という機会に加え、南スーダンを訪問するという機会に、アフリカにおいて最も新しく独立した国としてどのような取り組みを行っているのかを学びたい。特に政府の構造、議会と民間部門がどう機能しているかについて視察することに強い関心がある。

FPA は、国会議員を支援し、人口と開発に関する様々な課題を明らかにし、人々の生活の質を向上させる方策を議論するために設立された。ICPD 行動計画の全ての目標が、南スーダンの様々な立法や行動計画の中に確実に内包されるよう参加者に呼びかけたい。移民、乳幼児死亡率、出産制限、家族計画、危険な中絶サービスからの女性の保護を重視している。

FPA と SSNP&D の友好的な関係に感謝し、引き続き協力関係を尊重することを約束する。また、南スーダン議会で人口問題に関するアジェンダを主導してくれた Majur 議員とチームに感謝の意を表したい。

2023 年 6 月にエチオピアのアディスアベバで開催された総会において、Majur 議員は財務・総務委員に選出され、献身的かつ勤勉にその職務を果たしてきたことを報告したい。

国会議員は、不十分な保健サービス、低い教育水準、高い失業率、未整備のインフラ、貧困、飢餓など多様な公共課題に直面している。地域社会の生活をより良いものにするためのエンパワーメントは、我々共通の課題である。国会議員に対し、役割を果たし、地域社会がより良いサービスを受けられるよう、また自分たちの権利を正しく理解し、それを享受できるよう、力を尽くすよう促したい。

最後に、Parmena Awerial Aluong 副議長に対し、会議開催の機会と、SSNP&D への継続的な支援に感謝したい。さらに、APDA、UNFPA、南スーダンのリプロダクティブ・ヘルスを含む開発パートナーに感謝の意を表す。

開会宣言：Parmena Awerial Aluong 副議長（南スーダン）



Majur Babur 議長のリーダーシップが牽引する SSNP&D、そしてこの大きな会議の開催に感謝する。このような場は、議会の職務遂行に大きな役割を果たす。また、南スーダンの国会議員全員がこのネットワークに確実に参加できるよう、メンバーの招集に着手するよう促したい。

議長に代わり、SSNP&D のあらゆる活動において支援する準備が整っていることを強調したい。SSNP&D が設立される以前は国会議員が人口問題を十分に理解していなかったため、このフォーラムが重要な人口問題に関する情報提供と助言に役立っている。今回の会議は、南スーダンが主催国として開催されることになった。Majur 議長には、会議を企画し、実行してくれたことに感謝する。国会議員に対して、物価高と食料不足を人口問題の大きな課題の一環として取り組むよう求めたい。

健康な人口のためには、人々に食料を供給でき、生活を守ることが不可欠である。国会議員に、健康で豊かな国民の生活のために今後も活動するよう呼びかける。最後に、このメッセージを各々の地域社会に伝えるようリーダーたちをお願いしたい。

プレゼンテーション

ICPD 行動計画における FPA の経験：Fredrick Outa Otieno 議員（ケニア）・FPA 副議長



FPA は、人口と開発に関するロビー活動と啓発活動の先頭に立っている。アフリカの人口問題を推進する活動に従事する国会議員の能力強化に努めるとともに、合意された見解を国内に定着させる形で各国に人口問題への取り組みを普及させることは、全ての国会議員にとっての義務である。主な目的は、アフリカ諸国における持続可能な開発を達成するために人口政策とプログラムの策定、促進、実施のための活動を支援することであり、国際的及び地域的な公約の履行を目的とした議会活動を実施することである。FPA の戦略的介入については以下の通りである。

戦略目標 1： 貧困、SRHR を含む重要な人口問題に関する課題への国会議員の認識を高め、国際的・地域的文書に沿った新しい法律の起草や既存の法律の強化に取り組むことにより、人口と開発に関する法律の制定と執行の啓発を強化する。

戦略目標 2： 人口と開発のアジェンダを促進、普及させるために、以下のような連携を作り、強化する。

- 国際的・地域的な会議への参加や国会議員との交流。
- アジェンダの実施における市民社会、宗教団体、民間部門との協力。

国会議員の役割

人口と開発に関する批准文書（ICPD 行動計画、人口と開発に関するアディスアベバ宣言、MDGs 及び SDGs）と国内法との調和に関する行政への啓発活動を行う。

- 国際的な議定書や政府の政策による公約を国民の利益になるよう行動に移す。
- 人口と開発に関する法律、政策、プログラムを策定し、実施、監視、評価するメカニズムを確立する。
- 各国及びアフリカ大陸における人口と開発の課題に対する認識と対応を強化する政策プログラムをあらゆるレベルで支援する。
- 既存の法律や政策が確実に国際文書に沿ったものとなるよう強化する。
- 既に国際文書に沿わなくなっている法律を廃止する。
- 各国における人口と開発に関するアジェンダの実施に、全ての人々（女性、女の子、障がい者、高齢者）の参画を引き続き提唱する。
- 各国における人口と開発の活動実施のための法律と適切な財源を確保する。

- 人口と開発の活動に対する支出の説明責任を果たす。
- 人口問題に対する国民の意識を高める。
- 女性と女の子の権利、貧困撲滅、女性のエンパワメントへの男性の参加など、各国の人口と開発に関する課題解決に影響を及ぼす問題を再強化する。

ICPD 行動計画に関するウガンダの経験：Komol Miidi Joseph 議員

統計によると、ウガンダの人口は約 4,550 万人、年間人口増加率は 3.4%、人口の 60% 近くが女性である。主な産業は農業で、農作物の 80% 近くを女性が生産しており、その他にも観光、医療、教育、銀行、民間投資などが政府の収入源となっている。この国の人口は若者と青少年が大半を占めている。重要な懸念事項は以下の通り。

- 女性が生産活動に携わる割合が高い一方で、生産収入の大部分は男性が占めている。
- 失業率の上昇、技能習得度の低さ、人的・財政的投資資本の不足、10 代の妊娠、学校中退、児童婚など、若者人口に関わる課題に直面している。
- 最大の経済産業は農業であるが、常に天候の変化や不十分な農業生産管理などの影響を受けている。
- 避妊具の普及率は 51% であり、避妊法へのニーズはあるが、医療機関へのアクセスが限られている。

ウガンダにおける人口と開発に関する議会の介入は以下の通り。

- 2008 年国家人口評議会法、ジェンダーと家族法、2016 年婚姻法、2010 年女性性器切除及びその他有害行為の禁止など、人口問題を促進するための法律を制定した。
- その他にも健康保険、結婚・離婚法案などの法律の制定が予定されている。
- 国会議員が閣僚の政策声明や予算案を検討する際に、人口問題は国会議員の指針となっている。
- 食料安全保障・人口・開発に関するウガンダ議連（UPFFSP&D）は 1996 年に設立された。
- 地域コミュニティとの橋渡しとして、10 代の妊娠や学校中退、児童婚撲滅運動について、国会議員による支援活動が行われている。国会議員たちは、コミュニティが抱える課題を聞き出すために、現場で耳を傾ける役割を担っている。

UPFFSP&D の事例

UPFFSP&D 議長は、フォーラムのメンバーによって構成される総会によって任命される。UPFFSP&D 執行部は、議長、副議長、事務局長、会計、広報秘書、及び 4 つの地域代表（北部、東部、西部、中部）を含む 9 人のメンバーで構成され、事務局の業務を監督している。審査では、元国会議員の参加が検討されている。事務局は、コーディネーター、政策・研究責任者、事務員、ボランティアで構成されており、大学インターンも随時在籍している。UPFFSP&D には定款がある。

ウガンダの成功事例

1. メンバーの大多数は人口問題に精通しており、議会で自由に議論することができる。
2. 多くの取り組みの結果、保健省の予算は現在 4.5%と増加傾向にあるが、マプト宣言で合意された 10%を未だ下回っている。
3. 現在、各省庁が提出している全ての予算は、様々なマイノリティグループを念頭に置いている。
4. ウガンダ議会は、10 代の妊娠に影響を受けた少女たちを学校に復帰させる政策に合意した。これは彼女らの夢を実現するための取り組みである。
5. 多くのコミュニティは啓蒙され、より良い医療サービスを自分たちの権利として認識している。
6. 世界人口デー、世界食糧デー、国家安全母性デー、世界エイズデーなど、国内及び国際的な記念行事の推進者として参加している。
7. UNFPA の支援を受け、UPFFSP&D は世界文化デーの機会を利用して、Sebei や Tepeth、Kadam の文化の日など、より良い文化的実践を提唱している。
8. 関連問題に関する記者会見やメディアトークショーの開催している。

主な成果

1. 2010 年、絶え間ない連携のための努力の末、ウガンダで FGM を禁止する法律が制定された。
2. 2008 年、国会は、妊産婦の健康問題のための資金が確保されるまで、国家予算の承認を拒否した。
3. 2016 年、議長は飢餓をゼロにする議員選挙キャンペーンを開始し、これが地域社会の議員によって普及した。
4. 2000 年以来、UNFPA は NPC を通じて UPFFSP&D の活動の大半を支援している。
5. 2015 年、コンサベーション・ファーム・アフリカは、ザンビアの保全農業に関する 10 日間の調査ミッションに、議員 10 名とスタッフ 2 名を派遣した。
6. 2014 年 2 月、2021 年 8 月、APDA が主催する「人口と開発に関するアジア・アフリカ国会議員」を 2 回共催した。

ウガンダにおける人口政策介入の課題

1. 人々の意識改革には時間がかかる。UPFFSP&D メンバーは、主に家族計画に関する問題に取り組む際、多くの抵抗を受けている。
2. 会期、委員会、選挙区での活動、出張、陳情など国会議員の多忙なスケジュールに加え、任期終了時の離職率が高い。
3. 悪路のためにアクセスが困難な地域や、雨季には通行できない地域がある。



ICPD PoA での経験：Donkol Elvis 議員（ガーナ）

2021 年の国勢調査データによると、ガーナの人口は 3,100 万人で、その内 35%が子ども（0～14 歳）、38%が若者（15～35 歳）、約 4%が高齢者（65+）であった。若者の人口率が高い（約 60%）のは都市部である。

成長率は 2.33%、乳児死亡率は 1,000 人当たり 28.55 人、死亡率は人口 1,000 人当たり 6.14 人、平均寿命 69.37 歳で、出生率は 3.66 人、乳児死亡率は 1,000 人当たり 32.59 人、純移動率は人口

1,000 人当たり 0.16 人、避妊普及率は 27.2%、15～24 歳の失業率は 9.1%である。

人口問題への対処における課題

- 都市化：人々が仕事を求めて都市に来る結果、国際的な人口移動が発生している。
- 政府機関は政策のためのデータ利用が不足している（政治的動機）。
- 過去 20 年間出生率は高止まりしている。
- 避妊薬使用率、家族計画利用率が低い。
- 女性と若者のエンパワーメントプログラムに十分な資金が投入されていない。
- 開発とはインフラ整備だと考える市民と、プログラムを重視する政治家とが対立している。

主要な議会介入

- ガーナ人口開発議員連盟（Ghana Parliamentary Caucus on Population and Development）は 87 名のメンバーを擁し、ガーナ議会最大である。
- 人口問題に取り組むため、NPC、ガーナ統計局、国連機関、その他の NGO などの関係者を動員している。
- ガーナ人口開発議員連盟のメンバーを対象に、ICPD やその他の人口問題に関する研修プログラムを実施している。
- UNFPA と共同で、若者たちが自分たちに影響を与える問題や、それをどのように解決できるかを考えるためのフィールドプログラムを毎年実施している。
- 人口ボーナスを活用するためのキャンペーンに着手する。
- 義務教育と中等教育の無償化。
- 国民健康保険制度の設立（年間 2～10 ドル）。
- いくつかの否定的な社会文化的慣習が非合法化された。その中には、両親が借金を返済するために、女兒を祭司に捧げるという torokosi 制度などが含まれる。刑法が改正され、この制度は刑事犯罪とされた。
- 2007 年、女性器切除禁止法の制定（法律 741 号）。
- 女性だけでなく、社会的に不利な立場にある男性や子どもに対する家庭内暴力行為を抑制することも目的としている家庭内暴力法の制定（732 号）。

- 国家青少年雇用斡旋所の設立。
- 中等教育における技術・職業訓練の無償提供。

避妊方法の開発

現在ガーナでは、避妊に必要な費用の70%以上をドナーが支援している。しかし世界中で実施されているような現地での避妊法の開発は行われていない。これは健康な母子と人口を促進する上で中心となるため、国家が着目すべきである。

アフリカの政府が、避妊薬に焦点を当てずに COVID-19 やその他のワクチンの生産を提唱することは、人々が生き残ることはできても、気候変動の影響を受けやすい環境の中で、脆弱な立場の人々が取り残される可能性がある。従って全ての関係者、多国間機関を支援する必要がある。

家族計画と予防接種サービスの統合

予防接種サービスは、公衆衛生上重要な疾病を予防し、市民、特に子どもたちが生き延び、活躍できるようにするものである。特に避妊法は、意図しない妊娠や誤ったタイミングでの妊娠を防ぎ、母子の健康を維持するために有効である。予防接種と家族計画の実施は、母子の健康とサービス提供の相互支援であり、統合されなければならない。

効果的なコミュニケーション戦略

COVID-19 パンデミックのような有事の際の誤情報や偽情報の脅威に対する対抗策を見つける。SGDs を達成し、我々が望むアフリカを創造する上で、個人及び集団の幸福に対するリプロダクティブ・ヘルスに関する情報とサービスの役割に関する誤った情報や俗説に対処するための戦略を立てるべきである。

行動喚起

- 児童婚の課題と、子ども達とその子孫の人生に対するリスクに取り組む。
- 保健・教育サービスの質を向上させる。
- 政府は、若者と女性を対象とした需要の創出とイノベーションに焦点を当てるべきである。
- プログラムの持続可能性のために、より多くの若手国会議員を参加させる。
- 我々は、より質の高い人口のために果たすべき役割を担っている。

ディスカッション：

Zachariah Mutur 議員は、若者が労働者として他国に出稼ぎに行くことを問題視した。Donkoh Elvis 議員は、彼らの母国に比べて外国で高い収入を得ているため、それを止めることは非常に難しいだろうと反応し、彼らに対して、愛国心を持つよう奨励するのみであると回答した。Odwal Mark 議員は、人口と開発を論じる際にはデータが必要だと強調した。南スーダンにおける人口調査の実施について、フォーラムが何を実施したのかについて、議会で提起することが約束された。



Kwolte 議員は、同性愛の文化から国民を守るために国会議員ができることを提起し、Donkoh 議員は、同性愛を禁止する法律を制定し、子どもたちに神への畏怖が智慧の源であることを教示するよう助言した。Majur 議員は、ICPD アジェンダを南スーダンで推進し、厳守すべき公約を策定することを提案した。重点を置くべきは子どもの教育であり、識字率は 70% で、女性が取り残されているといった問題をアフリカの文脈で考えるべきである。

Abdul Rashid 議員は、南スーダン議会に対し、インフラ整備のためのロビー活動を強化するよう助言し、その第一歩として、この国を訪れる観光客に良い印象を与えるため、空港や空港から市内までの道路を美しく整備すべきであると述べた。さらに、南スーダンはこの会議で報告されたことを参考にし、FGM や GBV、10 代の若者に対する法律など、同様の取り組みを実施すべきであると述べた。また、計画的に質の高い人口を確保するために、家族計画を用いるべきである。ウガンダでは、10 代で出産を経験した女の子を再び就学させ、人生の目標を達成する機会を与えるという慣習に言及した。

Fredrick Outa 議員は、気候変動に関する問題は全てのアフリカ諸国に影響を及ぼしており、その主な原因は投資家が所有する工場からの排気ガスと森林伐採であると指摘した。植林は、この問題を打開する手段になり得る。ケニアでは、植林をすればするだけ国からお金が支給されるため、人々は植林をするようになった事例を挙げた。

Komol Miidi 議員は、若者の海外への出稼ぎ問題に関して、ウガンダは彼らの生計向上のために低金利で資金を提供する若者向けプログラム（Emyoga など）や初等・中等教育の普遍的無償化に多額の投資を行ってきたことについて言及した。

ICPD 行動計画における南スーダンのコミットメント：Abraham Thubo 議員（南スーダン）

国家コミットメントのハイライト

持続可能な開発アジェンダの不可欠な一部として、ICPD 行動計画の完全かつ効果的で迅速な実施と、資金調達のための取り組みを強化する。

1. 南スーダン政府は、紛争の解決に関する合意を完全に履行し、銃を廃絶し、有意義な開発の基盤として持続可能な平和をもたらすことを約束する。
2. さらに、2030 年までに予防可能な妊産婦死亡をゼロにするという全体的な目標にコミットする。
3. 開発パートナー、宗教団体、市民社会と連携し、2030 年までに全ての女性が熟練した医療従事者のもとで出産できるよう、その格差を埋めるために 3,906 人以上の助産師を養成（国際基準に準拠）・配置する。
4. 2021 年までに、妊産婦死亡と出生前死亡の監視と対応のための効果的な仕組みを、全ての国立・州立病院、郡立病院で確立する。

南スーダンは、家族計画に関する情報、教育及びサービスに対する満たされていないニーズをゼロにし、目標にコミットする

1. 2020 年までに 10%、2030 年までに 30~40%の避妊普及率（MCPR）を達成する。
2. 2021 年までに、国内全土の病院、PHCC、PHCU を含む全ての医療施設が、家族計画サービスと青少年/若者に優しい SRH に関する情報サービスを提供する。
3. 2025 年までに、教育カリキュラムの一環として、全ての小・中学校で年齢に応じたライフスキル及び性教育を提供する。

南スーダンは児童婚を含めた慣行に関する包括的な目標達成にコミットする

1. 2020 年末までに、全ての国が児童婚の廃絶を宣言し、仕組みを導入した。
2. 市民社会組織や女性活動家と連携し、あらゆるコミュニケーション手段を通じて、GBV に関する女性と女の子の声を取り上げる。
3. 月経衛生を改善し、女の子が継続的に学校に通えるようにするため、2025 年までに農村部と都市部の両方で、小学校と中学校に通う全ての女の子に生理用ナプキンを無償で提供するとともに、低所得世帯の女の子がより手頃な価格で購入できるよう、国内で製造または輸入された生理用ナプキンに免税措置を与える。
4. 女性のエンパワーメントを加速させるための資源とスキルを提供するため、2021/22 年度に女性開発基金が設立された。

南スーダン政府は、ICPD 行動計画を完遂し、すでに達成された成果を維持するために必要な資金を調達することを約束する

- Abuja 宣言に沿って、保健分野への予算配分を現状の 1.1%から 2020/21 年度に国家予算の少なくとも 5%、2030 年までに 15%に引き上げる。それに伴い、SRH サービスへの予算配分も増加させる。
- 2020/21 年度予算において、地方議会が地方予算の少なくとも 5%を保健分野に配分する。
- 2021/22 年度に妊産婦死亡率削減基金を設立し、大統領府の下で管理し、保健省等によって実施する。
- 受益者に相応のサービスが提供されるよう効率的で透明性の高い予算執行体制を確保する。

南スーダン政府は、経済成長を推進し、持続可能な開発を達成するため、人口動態の多様性を活用することを約束する

- 2020 年末までに、南スーダンの人口の過半数を若者が占めていることを考慮し、若者の生活に関連する問題への有意義な取り組みと参画のための、若者が主導する機能的なメカニズムを設置した。
- 人口ボーナスに関する AU ロードマップの柱の一つに沿って、若者の起業家精神とスキルを育成するための若者企業基金を 2021/2022 年度に設立した。
- 2021 年末までに、Juba、Malakal、Wau の各都市に、若者の技術革新と技能試験・構築のためのインキュベーション・スペースとプラットフォームを設立した。
- 新しい国家開発戦略（2021/22–2023/24）が、とりわけ人口ボーナスの活用に重点を置いていることを確認する。
- 2021 年までに、国勢調査の実施を含め、政策決定において参考となる最新データを入手するためのメカニズムを整備する。
- SDGs の実施とモニタリングの一環として、大統領府に ICPD 関連の地域的枠組み、特に「人口と開発に関するアディスアベバ宣言」と「人口ボーナスに関する AU ロードマップ」の公約の実施を定期的に検討するための機能的メカニズムを設置する。
- 2030 年までに初等・中等教育の完全普及を達成する。南スーダン政府は、人道危機の影響を受けた人々に対し、SRH ケアを受ける権利を擁護することを約束する。
- SRH や GBV の予防と対応を含む基本的な社会サービスを被災者に提供するために、人道支援者が自由にアクセスできるようにする。
- 2025 年末までに、人道危機の影響を受けた地域の全ての医療インフラを修復し、保健サービスを利用できるようにする。

南スーダン政府は、SRHR や GBV の予防・対応に対する障壁に対処するための進歩的な法的及び政策的枠組みの導入にコミットする

- 2020 年代半ばに、妊産婦ヘルスケアの質の向上を確実にするため、看護師・助産師に関する法律を制定。
- 特に GBV 法を 2020 年代半ばに、そして家族法と児童法を 2022 年までに制定／改正する

- 2020 年代半ばまでに南スーダン青少年育成政策を可決し、アフリカ青少年憲章を批准し、GBV 事件を審理する専門裁判所を（2021 年までに）設置。
- 障がい者や男性を含む SRH サービスの利用向上を促進する政策（リプロダクティブ・ヘルスに関する方針と戦略計画、業務転換政策と標準業務手順）を最終決定し、2019 年末に実施。

閉会式

挨拶：Fredrick Outa 議員（ケニア）・FPA 副議長

会議に出席した参加者たちの多大な貢献と議論に謝意を表明する。また参加者に対し、人口問題に取り組む一方で、未完の課題にしっかりと向き合い、ジェンダー平等と女性の地位向上の課題、そして女の子を中心とする子どもたちの夢の実現を支援することを優先的に取り組むよう呼びかけたい。世界は女性と女の子の窮状を改善するために前進している。自国のために計画を立てる際に、彼女たちのことを念頭に置くよう参加者に呼びかけたい。また今回の会議が素晴らしい環境で開催されたことに感謝し、今後もこのネットワークの活動やプログラムへの支援をお願いする。

挨拶：Abdul Rashid Hassan Pelpuo 議員（ガーナ）・FPA 議長

南スーダンに到着時より南スーダンの人々に歓迎され、感謝している。また Majur 議員の優れたリーダーシップと、常にさまざまな機関との調和のとれた取り組みに感謝の意を表す。今後も SSNP&D の活動を支援続けるようメンバーをお願いする。南スーダンから主に各国がどのように自立し、動き始めるかということについて学んだ。また南スーダンの発展の速さに感銘を受け、良いプログラムを実施するために行政への助言を続けるよう促したい。最終的に我々は質の高い人口を獲得するだろう。さらに、我々は家族を強化するプログラムを考え出す必要がある。FPA 事務所をガーナに設置し、会議を行うことを約束し、南スーダンの国会議員を招待したい。さらにメンバーに対し、人口プログラムへの支援を強化するよう要請する。

挨拶：Majur Babur Aja 議員・SSNP&D 議長（南スーダン）

SSNP&D を代表して、会議の目的が達成され、参加者の積極的な貢献が目覚ましいものであったことを嬉しく思う。南スーダンは数年前に独立した新しい国である。新しい情報は重要であり、若い国として、発展するために様々な国の経験を模範とする必要がある。

人口と開発への介入には資源と知識が伴う。本会議では、議員が知識に基づいて発言し、SSNP&D のプログラムを支援するため、可能な限り資金を調達するよう呼びかけた。本来、もっと多くの国会議員が参加する予定だったが、資金的な制約から実現できなかった。目標が確実に達成されるよう努力を続けることを約束する。FPA の連携の下で、他のネットワークとのさらなる協力を期待する。

7. 視察

7.1 SSNP&D 事務局

2024年1月30日、FPA 代表団は SSNP&D の事務所を訪問し、SSNP&D 議長の Majur Babur Ajar 議員と副議長の Margret Joel Barnaba 議員に温かく迎えられた。議長は訪問団に、SSNP&D の活動について説明し、国内の 10 カ国のうち 8 カ国が活動の対象となっていることを説明した。SSNP&D は、女性と子どもを有害な慣行から保護し、ジェンダー平等を促進するために、青少年育成政策、反 GBV 法案、家族法などの重要な法案を可決するために、国会と州議会のメンバーを巻き込んでいる。議会からの予算がないため、ネットワークは資金不足や、メンバーの能力開発の欠如などの課題に直面している。

FPA 議長の Abdul Rashid Hassan 議員は、SSNP&D に対し、目標を達成するためにこれらの課題を解決すべく尽力するよう激励した。目標達成に向け、SSNP&D へのさらなる協力と支援を約束した。

7.2 国会議長表敬訪問

Abdul Rashid Hassan 議員率いる FPA 代表団は、国会議事堂で Jemma Nunu Kumba 暫定国民立法議会（TNLA）議長と会談した。

挨拶：Majur Babur 議員・SSNP&D 議長

南スーダン国会議長及び国会議員に代表団のメンバーを紹介する。南スーダンは素晴らしいリーダーシップの下にあり、このような素晴らしいチームを迎え入れることができ、光栄に思う。



挨拶：Abdul Rashid 議員・FPA 議長

SSNP&D の素晴らしいリーダーシップと、南スーダンの発展レベルに感銘を受けた。FPA は 1994 年の ICPD 会議の後に結成された。FPA の目的はアフリカの人口と開発の問題に取り組むことである。全ての国が発展するためには、まず国民が健康でなければならないため、FPA は、国民皆保険制度の実現に尽力している。

暫定国民立法議会（TNLA）議長に、FPA のこれまでのコミットメントと献身を考慮し、SSNP&D への支援を検討するよう促したい。ガーナを例に挙げると、議連の活動には予算が組まれており、メンバーの能力開発支援や、国際会議への参加を促進している。

挨拶：Nunu Kumba TNLA 議長

暫定国家立法議会（TNLA）への訪問を歓迎し、そして南スーダンでの良い滞在を願う。TNLA の任務は 2018 年の和平合意の実施であり、SPLM、SPLM-IO、SSOA、OPP、FD などの政党で構成されている。議会の主な機能には、監視、立法、代表権などが含まれる。南スーダンは 2013 年の内戦により、苦境に立たされていた。その後、2018 年和平協定を締結し、和平を確実なものとする努力を行ってきた。協定の実施は進展しており、同国では比較的平和が保たれている。



TNLA の構造について、第一に、南スーダンは二院制の議会であり、TNLA には 550 人名の国会議員、全州評議会は 100 名の議員で構成されている。この 2 つの議会が一緒になって問題を審議することもある。TNLA は代表権を有し、5 つの政党は全て議会で代表を擁する。その他のグループには、南スーダン野党連合や Formal Detainees などが含まれる。また、人口と開発、水と衛生、若手議員フォーラムなど、35 の専門委員会がある。副議長は 3 名で、それぞれ政務、財務、議員業務を担当している。平和法も調印され、平和的な政権移行を確実にするための十分な準備も整っている。そのため、選挙管理委員会、政党、評議会が設置されている。さら

に、ロードマップの期間が 2 年間延長されたことを報告する。TNLA には 3 人の院内幹事長と院内幹事がおり、全ての協定関連法に関する法律が国会で可決された。

人口問題は開発と関連していることから、人口と開発に関する会合に関して、それが果たす重要な役割を強調したい。人口開発委員会は、目的を達成するためにあらゆる側面において提携パートナーと効果的に協力する努力を怠ってはならない。連携を進める一方で、委員会は自らの利益・関心や文化的な理由から、特定の側面のみ着手してはならない。協力分野における交渉力は、資金力や独立性にも左右される。FPA に対し、SSNP&D への揺るぎない支援を約束し、人口開発委員長に SSNP&D への資金提供を約束したように、議会が十分な資金を調達できるよう委員会独自の年間予算作成を開始する。最後に、訪問団に感謝の意を表し、安全な帰国を祈るとともに、今後も南スーダンを再訪することを願いたい。

7.3 John Garang De Mabior 霊廟訪問

代表団は、南スーダンのジュバにある自由広場を訪れ、SSNP&D の議長から、南スーダンの最も影響力のあった建国の父の一人、John Garang De Mabior 氏について説明を受けた。Garang 氏は第二次スーダン内戦中の 1983 年から 2005 年までスーダン人民解放軍（SPLA）の指導者であった。この戦争は包括的和平協定で終結し、6 年ぶりに南スーダンの自治州との和平が回復した。そのため、Garang 氏が Omar al Bashir 政権の副大統領に就任したのはわずか 3 週間であった。残念ながら、Garang 氏は 2005 年にヘリコプターの墜落事故で亡くなった。2011 年 1 月の住民投票で 98.8%が独立を支持し、南スーダン国家が誕生した。代表団は故 John Garang 氏に敬意を表し、訪問を締めくくった。



7.4 南スーダン女性議員連盟訪問:

FPA 代表団は、TNLA の女性議員連盟との意見交換を実施した。



代表団を歓迎する南スーダン女性議員連盟

歓迎挨拶：Josephin Moses Lado 議長

代表団が南スーダンを訪問したことに感謝し、FPA メンバーと直接交流できたことを大変嬉しく思う。女性議員連盟は 2006 年に設立され、その主な目的は女性、特に社会的に弱い立場にある女性や教育を受けていない女性を保護することにある。連盟は 3 歳未満の子どもを預かる託児所を運営している。これは、国会議員や職員が子どもと一緒に通勤して仕事を進められるように支援するためである。党员集会は、児童婚や女性に対するその他の有害な慣行の問題について、女性を教育する任務も担っている。我々は FPA に協力することを約束する。

挨拶：Fredrick Outa FPA 副議長

女性議員連盟の温かい歓迎に感謝する。ケニアでは女性が権限を与えられ、男性の同僚と同等に仕事をしている。託児所についても、ケニアでは、ある女性が赤ちゃんを連れて議場に来たことがきっかけで、議会内にこのような施設を設けるようになり、指導者層に変革があった。また、ケニアは 50/50 の男女平等を達成した。

挨拶：Abdul Rashid Pelpuo FPA 議長

議会事務局や、乳幼児を持つ母親たちのための託児所など、建物全体が女性議員連盟のための施設となっていることに気が付いた。また、南スーダン女性議員連盟は、新しい母親たちにジェンダーに配慮しており、これにより、彼女たちが効率的に仕事ができるようになったことを称賛したい。ガーナとウガンダを含む他の代表団に対し、それぞれの議会で同様の取り組みを求めたい。

また、政府や政治の場で女性がどのように評価されているかに関して、女性は農業、保健、産業等、生活のあらゆる面で多面的な役割を果たしている。彼女たちに政治や国の統治プロセスを含む戦略的な意思決定機関に参入する平等な機会を与えるよう社会に促したい。

ガーナでは以前にも女性議長が誕生したように、女性に多大な敬意を払っており、女性のリーダーシップは全体の貴重な財産であることを認識している。さらに、FPA は、女性に悪影響を与える文化的慣習の変革を提唱することにより、女性を支援することを約束している。ガーナでは、女性議員にも男性と同等に議席を争う機会が与えられており、女性議員は順調に昇進している。選挙を経ずに女性に議席を割り当てることは、女性の自発性や自信を削ぐことに繋がる。ガーナでは、女性の雇用と教育の機会も平等である。南スーダン議会に女性議長が誕生したことは素晴らしい。2009 年にガーナで初の女性議長が誕生したことを思い返した。

閉会挨拶：Josephine Moses Lado 議員

女性議員連盟は設立以来、女性の大義を擁護してきた。これを実現するために、国内外の様々な組織と連携してきた。また、連盟は非政治的で中立的であり、その目的を共有する全ての人を受け入れている。最後に代表団の尽力に感謝し、彼らの成功を祈りたい。

8. まとめ

1. 南スーダンを含め、人口と開発に関する議員連盟の大半は、その活動に対する資金と適切な議会の支援が不足している。議連の活動を、継続中の議会事業と完全に統合する必要性は極めて高い。
2. 南スーダンは依然としてインフラ面での課題に直面しており、地域社会への働きかけなどの介入が難航している。
3. 多くの発展途上国と同様に、南スーダンは依然として若者の人口が多く、その課題に苦戦している。この問題は、失業、学校中退、10代の妊娠、技能不足といった他の問題とともに深刻化している。その結果、若者は薬物乱用やギャンブルに走るようになった。これが国内の犯罪率の高さの原因となっている。
4. 多くの文化的信仰/慣習が、男性がより多くの家族を持つことだけでなく、若い女の子の未来を奪う児童婚の原因にもなっている。

9. 提言

人口と開発に関する国会議員会議は、以下のことを提言した。

1. 国会の役割を向上させるために他の国がどのような取り組みを行っているかを評価する試みとして、国会議員の視察・交流の機会を設ける。特に、ICPD アジェンダの成功事例を挙げている国に焦点を当てる。
2. 人口と開発に関する特別な会議や研修を、SSNP&D メンバーのために定期的に開催する。
3. ドナー及び議会からの予算援助を得ることにより、SSNP&D の活動を強化する。
4. ICPD アジェンダの達成に向けた協調とネットワーク構築のため、関係省庁や政府機関と常に連携する。
5. 地域社会への働きかけを通じて、国会議員やコミュニティのリーダーを巻き込み、主に女性や女の子に影響を与える有害な文化的慣行を廃絶する。
6. 思春期とリプロダクティブ・ヘルスのプログラムがより多くの予算支援を割り当てられるようにする。

